

「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」 8月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【群馬県の生育状況】

図 作柄表示地帯別の生育の良否
(8月15日現在)

群馬県における令和元年産水稻の8月15日現在の生育は、7月上中旬の低温・日照不足により「やや不良」で推移している。

また、作柄表示地帯別の生育は、中毛が「不良」、北毛及び東毛が「やや不良」で推移している。



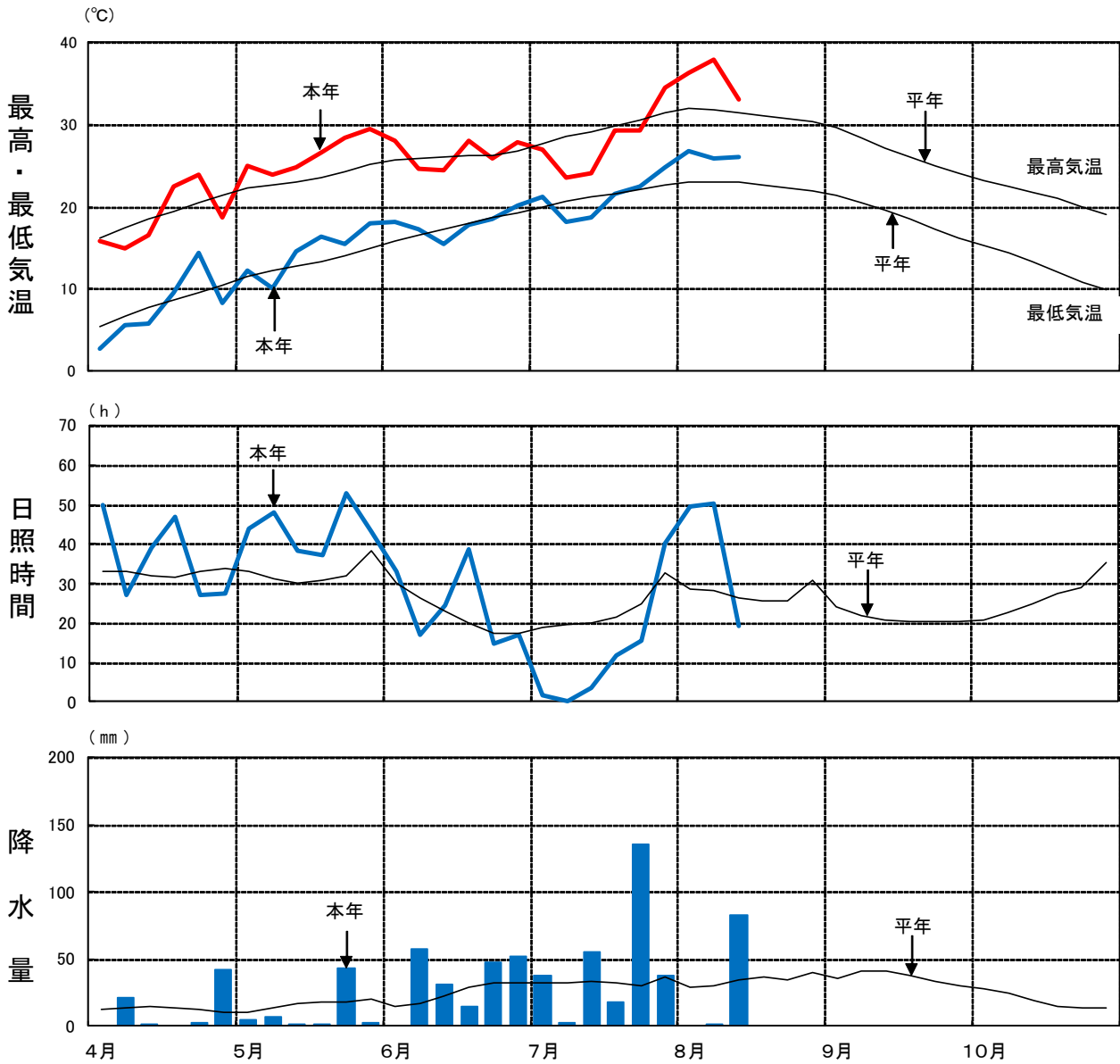
注：本図で用いた生育の良否は稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

- 1 田植最盛期は、平年並みとなった。
- 2 草丈は、7月上中旬の低温・日照不足により生育が停滞したことから「やや短い」となった。
- 3 茎数は、7月上中旬の低温・日照不足により分けつが抑制され「やや少ない」となった。なお、田植えの遅い中毛では影響が大きく「少ない」となった。

○ この資料は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」8月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（前橋）



資料：気象庁

田植期
6/14(±0)

注：田植期の期日は、最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問い合わせ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 群馬県拠点 統計チーム
 電話：027-221-1173
 F A X：027-221-1174